

令和8年度 学校経営方針

1 学校経営の理念

本校は地域とともにある学校であり、卒業生にとっての「心のふるさと」である。地域の社会構造の変容に伴い、学校が抱える課題の複雑化・多様化が進む中、学校と地域が連携・協働し、生徒の豊かな成長を地域社会全体で支える取り組みは、今後一層重要性を増すと考えられる。

また「生きる力」という概念は、変遷を経て、現在は予測困難な社会を生きていく力のことである。地域とともにある学校においては、具体的には次の3種の学力を指す。

- 1 生徒が社会や人々との結びつきから深めた知識と技能。
- 2 地域課題に取り組む活動等を通じて総合的に高めた思考力・判断力・表現力。
- 3 「学んでいる自己は身近なコミュニティにとって有用な存在である」という気づきから高まった自己肯定感を支えに、積極的に人生の目標を達成しようとする行動力。

これらの学力を獲得することは、ふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人間の育成および個性の伸長に寄与するものである。

本校の学校経営の特徴は、この理念を教育課程として実現する意志を持つことである。このため、全職員が学校経営への参画意欲を持ち、同僚性を発揮して、教育実践に取り組む。

2 校訓

「自主」「協和」

3 教育目標

『心豊かで、たくましく頑張る生徒』

4 努力目標

- やる気を持って、粘り強く学習する生徒（知）
- お互いに助け合い、礼儀・あいさつを大切にする生徒（徳）
- 積極的に心身を鍛える生徒（体）

5 学校教育課題

「確かな学力」と「豊かな心と健やかな体」の育成

6 実践的重点課題

「わかる」「できる」を実感させる場面設定や課題の与え方の工夫

7 学校経営の重点

(1) 「確かな学力」の育成

- ① 粘り強く学習する態度を育てる授業改善に努める。
- ② 生徒指導の4つの視点（・自己存在感の感受 ・共感的な人間関係の育成 ・自己決定の場の提供 ・安全・安心な風土の醸成）を下にした成就感や達成感を味わえる授業づくりに努める。
- ③ 多様な体験と探究的な学びの機会を提供し、健全なキャリア発達を促す総合的な学習の時間の充実に務める。
- ④ ICT機器を積極的に活用し、情報教育の推進や思考力・判断力・表現力の育成に努める。

- (2) 「豊かな心と健やかな体」の育成
 - ① 道徳科を要として教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実に努める。
 - ② 不登校やいじめを生まないために、スクールカウンセラーを活用し、教育相談機能を生かした生徒指導を全校指導体制で推進する。
 - ③ 豊かな心、健やかな体をはぐくむ健康教育と体験活動の充実に努める。
- (3) 「教職員としての資質・能力の向上」の推進
 - ① 計画的に校内研修に取り組み、成果と課題の把握に努める。
 - ② 校外研修及び自己研修を積極的に推進する。
 - ③ 教職員としての使命とやりがいを全うするため、服務規律等の遵守を徹底し、非違行為防止のための取り組みを率先する。
- (4) 「社会に開かれた学校づくり」の推進
 - ① 小学校・地域との積極的な連携に努める。(学習、伝統文化、愛着と誇り)
 - ② キャリア教育の視点を生かした家庭・地域との協働指導体制の充実に努める。
 - ③ 懇談・面談等での対話を通じて、学校教育への理解と保護者と教師の信頼関係を深める。
 - ④ 学校だよりや学級通信等を通して、家庭・地域の学校教育への一層の理解を促す。

8 目指す学校像

- (1) 生徒が夢と誇りを持ち、生き生きと活動する学校
- (2) 生徒も教師も信頼関係で結ばれ、互いに成長していく学校
- (3) いじめの未然防止に取り組み、いじめを許さない学校
- (4) 安全で美しく整備された環境の中で、安心して活動できる学校
- (5) 保護者・地域が親しみをもち、明るく開放された学校

9 求める生徒像

- (1) 命を大切にすする生徒
- (2) 夢を育て、夢の実現に向けて意欲的に学習する生徒
- (3) 諸活動に全力で取り組み、苦しくてもやり抜く生徒
- (4) 礼儀・あいさつを大切にし、決まりを守る生徒
- (5) 自他の良さを認め、思いやりを持ち協力し合う生徒

10 求める教師像

- (1) 教育に情熱を持ち、生徒と共に活動する教師
- (2) 組織の一員としての自覚を持ち、高いモラルと協調性のある教師
- (3) 生徒の良さを伸ばすために、自己の資質・能力の向上に励む教師
- (4) 自らの健康に留意し、万全の状態職務に取り組む教師
- (5) 保護者や地域に信頼される教師